

【仮称】リニア駅前空間デザインノート（案）

■目的と方針

長期間かつ多くの関係者が絡むプロジェクトを適切に進めていくためには、計画・設計・施工に至る様々な段階で、立ち戻ることのできる“計画の柱”をまとめておくことが重要だと考えます。

そこで基本設計と並行し、リニア駅前の考え方や目指す空間像を、地域の人々や多くの関係者・関係機関と共有するための資料として、『（仮称）リニア駅前空間デザインノート』の作成を提案します。

本資料は、市民向けのパンフレットにもなり、また関係機関や将来の設計者・施工者などへの説明資料・意思伝達資料になるものを目指します。そのため、模型写真やパースなどビジュアルな資料に加え、できるだけ専門用語を用いない説明により、コンパクトでありながら、計画の考え方をきちんと伝えられる資料とします。

また計画の内容については、市民ワークショップ・学識者委員会・デザイン会議での議論内容や意見を踏まえ、市民協働によるリニア駅前の計画を取りまとめたものとします。

■デザインノートの構成案

現段階での構成案は下記を想定しています。

1. リニア駅前のテーマ・コンセプト

地域やエリアの特徴や魅力も含め、テーマやコンセプトを記載

2. 計画全体の考え方

コンセプトを実現するために大切にすべきことを、駅前空間の全体イメージとともに記載

3. エリアごとの考え方

北口広場、南口広場など、それぞれのエリアごとに空間イメージや活動イメージ、また設計において重要視すべきことを記載

4. 全体にかかる統一事項

舗装などの素材や色彩、植栽など、駅前全体で統一する要素についての考え方を記載

5. 新しい交通やエネルギーなどの将来ビジョン

近い将来に実現する可能性の高い最新技術を踏まえた駅前空間の将来ビジョンを記載

参考イメージとして

①吉里吉里地区デザインノート（岩手県大槌町吉里吉里地区・2014）

地域住民とのワークショップにより取りまとめた大槌町の復興計画案。本計画をベースに詳細設計が進められた。また地域協働の計画案であることから、国や県、施工者との協議時に大きな効果を発揮した。8ページで構成され、全体の考え方や重要な場所の考え方について、ワークショップの意見も記載しまとめられている。

②南町田拠点創出まちづくりプロジェクトにおける景観形成の考え方ノート（東京都町田市・2016）

東急田園都市線の南町田駅周辺では、東急の商業施設・クランベリーモールのリニューアルに伴い、隣接する市の鶴間公園と連動した整備が計画されている。計画の柱づくりや市民への情報共有を目的とし、市の景観審議会が中心となり、市や東急電鉄とともに作成した資料。

11ページで構成され、全体の考え方や重要な場所の考え方についてまとめられている。

①吉里吉里地区デザインノート

構成（表紙含め8ページ）

- まちづくりの方針と計画の考え方
- エリアごとの考え方
 1. みんなの集まるまちの広場
 2. まちなか区間 <まちと海をつなぐ海の軸>
 3. 2号街区公園区間 <まちと海をつなぐ海の軸>
 4. 海の軸から繋がる海の広場と砂浜
 5. 歩きやすい道と緑あふれる町並み
- 模型写真



まちづくりの方針と計画の考え方



計画全体の見取り図、重要なことは全て記載し、重要なエリアについての詳細は次頁以降で説明

エリアごとの考え方：1. みんなの集まるまちの広場



重要なエリアごとに、パースや図面、参考写真などビジュアルな資料で説明、ワークショップの意見も記載

②南町田拠点創出まちづくりプロジェクトにおける景観形成の考え方ノート

構成（表紙含め11ページ）

- 地区の特性・拠点整備方針
- 地区全体コンセプト
- ゾーンごとの景観形成の考え方
 - 3- (1) 融合ゾーン(地形広場周辺)
 - 3- (2) 鶴間公園(全体デザイン方針)
 - 3- (2) 鶴間公園(各エリアの方針)
 - 3- (3) 駅前空間+商業施設(歩行者ネットワーク)
 - 3- (4) 沿道景観
 - 3- (5) 都市型住宅(住み替え)
- 全体にかかるデザイン



地区全体コンセプト



コンセプトをビジュアルな資料とともに記載

ゾーンごとの景観形成の考え方(全体)



全体の見取り図とゾーン分け